

【様式1】

※別途、発注業務の中で概要作成を行っている調査については、この様式を使用する必要はない。

調査年度	平成24年度
調査タイトル	豪雪地帯現況分析検討調査業務
<p>1 調査の目的と背景</p> <p>本調査業務は、今後の効果的な豪雪地帯対策の立案及び実施のために、有効な調査項目について整理し、豪雪地帯の道府県、市町村等から基礎的データ等の収集・とりまとめを行うものとし、それをもとに同地帯における経年的推移・地域間比較等の分析を行うとともに、従来とは異なる雪の降り方により被害があった地域を対象として、大雪が雪国の生活や社会に及ぼす影響度合いを把握することを目的とする。</p> <p>2 調査方法、体制</p> <p>(1) 豪雪地帯に係る情報収集</p> <p>雪に関する近年の動向を把握するため、新聞記事等により豪雪地帯に係る情報を抽出し、整理を行った。</p> <p>(2) 調査項目の整理</p> <p>豪雪地帯における社会状況の変化を踏まえ、同地帯に係る対策の立案及び実施のために有効な調査項目及び調査票について整理した。</p> <p>(3) 基礎的データの収集とりまとめ</p> <p>(2)で整理した調査項目・調査票をもとに、基礎的データを24道府県及び532市町村等から収集し、とりまとめを行った。</p> <p>(4) 近年における降雪状況・地域特性分析調査</p> <p>従来とは異なる雪の降り方により被害があった地域を対象として、大雪が雪国の生活や社会に及ぼす影響度合を検証した。</p>	

3 結果概要

各調査項目について、豪雪地帯（特別豪雪地帯を含む）・特別豪雪地帯別、道府県別に合計値または平均値を集計し、図表等により整理した。

区分	指標	区分	指標	
概況	市町村数	雇用	新規求人倍率	
	人口		有効求人倍率	
	面積		雪冷熱利用施設数	
気象	冬期間累計降雪量	財政	道府県の豪雪地帯対策関係経費	
	年間の最大積雪深		市町村の豪雪地帯対策関係経費	
人口・世帯	高齢化率		財政力指数	
雪害	世帯数	豪雪対策	高齢者が無理することなく除雪できる体制を整備している市町村の割合	
	人的被害		計画	「総合的な雪対策計画」策定済み市町村数の割合
			交通	除雪ボランティア
	通学			除雪ボランティア
			除雪ボランティア登録人数(道府県)	
	雪崩		除雪ボランティア活動延べ参加人数	
道路交通	除雪機械	除雪ボランティアセンターの設置市町村数	除雪業者に委託している要支援世帯への経済的支援	
		防除雪施設	除排雪サービス提供	除雪業者の公費負担による派遣
			住宅	住宅の克雪化
	家屋周辺の克雪化			融雪屋根以外の克雪住宅の購入に対する補助・融資
	交流	雪テーマ交流活動数	除排雪機械の貸与	融雪装置の購入に対する補助・融資
			冬期居住	冬期居住施設の整備、入居斡旋
		冬期生活支援	冬期の移動手段の提供	
		一斉除雪	冬期の燃料費の補助	
		空家	地域一斉除雪の実施市町村数の割合	
		命綱	道府県の空家管理条例の策定数	
		技能講習	市町村の空家管理条例の策定数	
			命綱普及に向けた取組の実施市町村数の割合	
			除雪技能講習の実施市町村数の割合	

また、近年の降雪量（時間降雪量、日降雪量）をメッシュデータとして表すとともに、大雪が地域社会に与える経済的損失（雪害被害額、渋滞損失額）や社会に与える影響（人的被害、家屋被害、停電、休校等）との関係を定量的に分析した。

参考 URL 等

http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd_chisei_tk_000010.html